



会員番号(No.48447):上山 由美子氏 撮影

コロナ禍臨時特集 第9回

社会福祉士とわたし ……………p.6

- 第31回 日本社会福祉士会 全国大会
社会福祉士学会・大分大会のご案内 …………… p.2
- 川崎支部の活動報告 …………… p.3
- 実践発表大会の開催報告 …………… p.4-5
- 2022 (令和4) 年度 理事会報告 …………… p.7
- 公開講座・研修情報 …………… p.8



第31回

日本社会福祉士会 全国大会

社会福祉士学会・大分大会のご案内

7/1^土・2^日

別府国際コンベンションセンター
〈ビーコンプラザ〉

参集+事後配信での開催(参加申込みの方は参集される方も後日オンデマンド配信にて本大会の全てのプログラムを視聴できます。)

大会テーマ

現実社会と向き合うソーシャルワーク —「たがいに・ささえあい・つながり」を目指して—

参加お申込み受付中!

第31回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会は、2023年7月1日(土)・2日(日)に大分県別府市で開催されます。

大分大会のテーマは『現実社会と向き合うソーシャルワーク —「たがいに・ささえあい・つながり」を目指して—』です。どのような時代にあっても私たちソーシャルワーカーはこれまでも、そしてこれからも現実社会とひた向きに向き合いながらソーシャルワークを展開していかなければならない、という思いを込めています。今大会は、参集による開催に加えて、後日オンデマンド配信を行います。当日会場においでのことができない方にも、大分大会の臨場感をお伝えしたいと思います。ご参集いただいた方には大会後にもう一度振り返って見ていただければと思います。

皆さまと大分の地でお目にかかれ、「たがいに・ささえあい・つながり」について考え、語りあえることを楽しみに準備を進めています。

皆さまのご参加を、大分県社会福祉士会会員一同お待ちしております。



公益社団法人
大分県社会福祉士会
会長 白田 晃久

ともに実践研究の方法を学びませんか?

全国大会のプレ企画として「実践研究入門講座」を開催します。

本講座では、社会福祉士学会で日頃の実践をまとめて発表したり、研究誌『社会福祉士』に論文や実践報告として投稿する際の方法や考え方を学びます。

発表や論文執筆がゴールでなくても、日々の実践に研究的な視点を持ちながら取り組む姿勢は「最良の実践を行う責務」(倫理綱領)の具現化でもあります。関心のある方は、是非ご参加ください。

参加申込は2023年5月24日(水)16:00までです。なお、プレ企画は参集型(会場で受講)で実施します。オンデマンド配信はありません。

お申込み・くわしくはこちら

大会特設サイト

<https://oita-csw.or.jp/pr/>

大会ホームページ



申込み期間

6月2日(金)まで

プレ企画ページ



申込み期間

5月24日(水)
16:00まで

「シームレス」を担うその日まで 私たちの挑戦は続く

川崎支部 支部長 平山 みちる

2022年度の研修会では、「コロナ禍の家庭支援で得られた課題～子どもを含めた居場所と虐待・ヤングケアラーの現状～」と題して、江良泰成氏(たじま家庭支援センター・センター長)より、コロナ禍で増えたと言われる家庭内虐待、ヤングケアラーの実態をお話いただきました。

同センターでは、川崎区全域を対象に、かわさき地域生活支援拠点 たじまの窓口として、子どもから高齢者までの相談をワンストップでお受けしています。必要に応じて、地域の関連機関と連携し、包括的支援も推進しています。

地域交流や関係機関へのアウトリーチを通して、「相談」にまで至らない潜在的なリスクや困り事をキャッチし、相談支援の中で適切な関係機関への橋渡し役を行っているそうです。

講演後、様々な対象層の相談支援を担うために必要な視点を改めてうかがいました。

まず、家庭をターゲットとして、子ども・障がい・高齢に関係なく、家庭内で起こっている課題をご家族と一緒に考え、並走していく事だと考えています。支援という押し付けにならない様、救急事案を除いて時には、ご家族の思いに寄り添って待つという事も必要となります。こども食堂や学習支援、食糧支援を通して、家庭やこどもの居場所や役割を創出し、その中の活動を通して自己肯定感を高めていけるよう、配慮が求められてきます。特に子育て世帯が抱える課題は、多岐にわたり、時には、居住・仕事探し、金銭的な課題から法律相談等々、福祉だけでは解決できない分野も多く表出してきます。複雑に絡み合った課題を、一つずつ紐解いていく必要があります。繰り返し、繰り返しのアプローチが求められてきています。

そして、住み慣れた地域で、暮らし続ける為に、支援者として知恵と勇気が必要だと考えております。地域にある関係機関と協働させて頂きながら、足りない部分を補足し合いながら、これからも相談支援に取り組んでいきたいものです。

社会福祉士は、幅広い対象層の個別支援を担う他、関係機関や地域連携等幅広い知識と技術をもつ専門職ですが、その実践をしている話を聞き、大変勉強になりました。

今後も公益社団法人として、県内の社会福祉増進と県民の生活向上に寄与する県民講座を企画運営して参ります。



実践発表大会の開催報

2月25日(土)にオンラインにより実践発表大会を実施しました。実践発表大会は、会員の方の実践を発表するための貴重な機会となっていました。新型コロナの影響もあり、ここ数年開催することができずにいました。昨年の8月に生涯研修センター担当理事の話し合いでオンラインならば可能ではないかということになり、久しぶりに開催することになりました。チラシを作成し発表者を募ったところ、6名の方が手を挙げて下さいました。ウイリングが配信会場となり、発表者は都合のつかなかった方以外は基本会場からの配信となりました。2分科会で発表15分、質疑応答15分という形式で各回、熱のこもった発表が行われました。今回発表された方々は、お仕事で忙しい中、それぞれの実践を振り返り、言語化してまとめる作業をして頂きました。中には会場でリハーサルをして最後の最後まで修正を加えながら取り組んでいる発表者の方もいて頭の下がる思いがしました。この場をお借りして、今回発表して下さいました6組の皆様にご挨拶を申し上げます。ありがとうございました。

今回、聴講者の方は50名ほど参加され、各自好きな発表を聴くという形でしたので、残念ながら全ての発表を聴くというわけにはいきませんでした。次回開催する際は、発表者の了解を得た上で、後から録画で見れるようにしてはどうかと個人的には考えております。

発表の中でコロナ禍になってオンラインが当たり前のようになり、オンラインだから参加できる人もいて、活動が以前より活発になったという報告もありました。その反面、オンラインも良いけど実際に会うことの大切さも感じているとの報告もありました。コロナ禍でいろいろと大変な面はありましたが、多くの方がオンラインというスキルを身に付け、実際に会うことの大切さを感じたとも言えるのではないのでしょうか。

来年度も実践報告大会は開催する予定です。まだ、日程等は決まっておりませんが、公益化10周年ということもあり、ハイブリットの開催も検討しております。ご自身の活動、自主活動グループ、委員会等の活動をアピールする場として発表することも可能ですので、是非お気軽にチャレンジして頂きたいと思っています。スキルアップ間違い無しです。お待ちしております。



実践発表大会の発表者と企画者の集合写真(撮影時のみマスクを外しました)



2022年度 神奈川県社会福祉士会

実践発表大会 発表者一覧

コロナ禍での当院における 退院支援の取り組みと課題

～血液透析患者の在宅療養支援に関する実践発表～

地域包括ケアシステムの時代に通院透析患者が大腿骨頸部骨折により入院となったケースについて実践報告を行いました。コロナ禍での退院支援に課題がある中で、ケアマネジャーや患者本人とのやり取りを踏まえて、当院での取り組みの現状や課題についてお話ししました。

発表者：西湘支部 重本 晴賀

ゆるキャラが紡ぐ 「人」「活動」「価値」

～ハグミプロジェクト6年間の軌跡～

横浜支部公式キャラクター「ハグミ」の選定・広報活動をしてきた、ハグミプロジェクトの6年間の振り返りしました。「価値」観をすり合わせ、楽しんで「活動」し、その様子や成果物を見せて、新たな「人」を呼び込んできたことを紹介しました。

発表者：横浜支部 中島 礼子

障害者と健常者の語りから読み解く、 インクルーシブな社会の為に必要なこと

～重度身体障害者及び、障害者と関わりのある健常者へのインタビューより～

障害者と健常者の方々に学齢期から現在までの互いの関わりを語り、その生きた言葉の数々を質的データ分析法(佐藤郁也著)によって分析し、それらの言葉が織りなす「インクルーシブな社会」に必要な事柄をお聞きいただきました。

発表者：相模原支部 森下 美香

川崎市高津区における 地域包括ケアシステムの実践事例

～0～100歳の為の見守りネットワークを創る会の発足と活動紹介～

自身が参加する市民活動の発足経緯や活動内容を紹介する中で、地域包括ケアシステム及び地域共生社会の実現に必要な「10のポイント」を紹介しました。質疑応答を含め、伝統的な相互扶助と行政連携(縦割り行政の克服)についてもお話ししました。

発表者：川崎支部 木村 有孝

横浜市における障害者就労支援者の ネットワークの構築

～ハマジョブネットワーク5年のあゆみ～

私たちは、障害のある人の就労に関わる福祉・教育、雇用企業、当事者など多領域の交流を志向し、支援者の孤立を防ぎ、共生社会に向け学び合うことを目的に、2017年に有志でネットワークを発足させました。本報告ではアンケート調査をふまえ、これまでの実践の成果と課題を紹介しました。

発表者：横浜支部 江原 顕、山田 武志、菅井 夏子

コロナ禍における成年後見活動の あり方についての考察

～身上保護の視点を通して～

コロナ禍における社会福祉士後見人への活動ヒアリングを通して、直接会うことができない中、今までの関係性を繋いでいくために様々な工夫をし、本人のWishを大切にしていることが分かりました。これらのことから、本人に寄り添い、意思を尊重するという身上保護のあり方、後見人の倫理についてお話ししました。

発表者：横須賀三浦支部 金井 直子

社会福祉士とわたし



△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽ 横浜支部 島田恭子さん

今年も新しい仲間を迎える時期となりました。今回の第35回社会福祉士国家試験の合格者は16,338人で神奈川県在住は1,197人だそうです。心よりお祝い申し上げます。その中に職場の仲間が2名含まれていることは、私にとっては喜びとなっています。仕事に従事しながらの勉強は大変だったと痛感しています。そんな私も仕事をしながら受験した経験者です。今年から新しく「こども家庭庁」が新設され、こども基本法に基づいた「こども主体の福祉」の実現に向けた方策が開始されます。そのため、「子ども子育て家庭支援」にかかわる者として、メッセージを依頼されました。

社会福祉士になった経緯

修道女の叔母が児童養護施設で働いていたのが、福祉現場を知ったきっかけでした。中学生の時に興味を持ってボランティアとしてお手伝いしたのを覚えています。その時は叔母に憧れて、修道女を夢見ていましたが、叔母からは在俗での生活を勧められ、戸惑いながら自分の道を探したことを思い出します。

その後、母の勤める保育園を手伝った時、初めて、障害児を育てる母親と出会いました。この出会いが、わたしに福祉の道を示してくれました。1歳までは熱も出さずに元気に育っていた子が、突然の発熱と同時に難病を発症し、今まで順調であった定額ができなくなり、座ることも歩くことも出来なくなったそうです。その子を抱えて、何回も電車の踏切で立ち止まったと伺いました。「この子といっしょに。。。でも、残った弟や夫は。。。と踏みとどまったそうです。当時は保育園での統合保育はまだ実施されていない時代でした。そこでこの子を担当して、保育園生活を体験できるように補助したことが、わたしの福祉の始まりです。いまでも「この子は光の子」として残っています。

精神薄弱者更生施設(現、指定障害者支援施設)の生活指導員に着任した時、ある女性が「この子可愛いでしょ。私の息子。他の施設で生活しているけど、夏休みには一緒に泊まるのが楽しみ」と自己紹介してくれました。裕福な農家に嫁いで男児を出生したものの、ご主人が他界したため家を出されてしまったようです。この時の彼女の笑顔を見た時、どんな支援があれば、母子を分離しないで生活できるのかと考えていました。

そして横浜の母子寮(現、母子生活支援施設)の母子指導員(現、母子支援員)になりました。前職の時から社会福祉士の資格を知り、通信教育で勉強していましたが、中々、仕事との両立は難しく時間を要しました。やっと合格したのが平成15年でした。

現在の仕事

同法人の乳児院と母子生活支援施設を行ったり来たりしていますが、現在は最後の職場として、母子生活支援施設の施設長を拝命しています。母子寮から母子生活支援施設への名称変更時代も勤務していました。保護から自立支援をキーワードとしていましたが、その後は虐待問題やDV被害が続出し、緊急一時保護として入所する母子が絶えない現状です。子どもにとって大切な存在であるべき両親の激しい暴言暴力場面を見聞きすることで、心理的虐待を受けます。母親は夫からの暴言暴力で自尊心をはく奪され、母親としての自信も喪失しています。子どもは今までの恐怖心が心身の異常として現れてきます。そのため、母子の自立には信頼できる人との関係構築が必要であり、それが母子生活支援施設の職員の仕事です。

こども基本法が実現できる職場を目指して

こどもが個人として尊重され、基本的人権が保障され、差別的取り扱いをしない社会の実現を目指し、児童福祉施設は、母親と一緒に、家族丸ごとの幸せな生活が送れるように支援してまいります。そして、こどもの意見表明ができる機会を提供し、最善の利益を優先した生活を支援していきたいと思います。そのためには子どもを育てる母親自身に寄り添い、子育ての喜びを感じられる生活支援施設を目指していきたいと思います。

〈2022(令和4)年度 理事会報告〉



■第5回通常理事会 2022年12月13日(火) 19:30~20:50 [オンライン会議]

議長: 隅河内会長 議事録署名: 出席全理事・監事 出席理事: 17名 監事: 東海林 事務局: 2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1: 入退会審査(11月分)…入退会審査→11月入会4名、転入3名、転出1名、退会3名、11月末会員数3,165名、県内登録者数19,850名、組織率15.94%。キャンペーン(30歳以下入会金免除)の対象者は0名。 議案2: ばあとなあ神奈川後見人等候補者推薦、法人後見状況…名簿登録に係る異動状況、11月30日登録者数669名で変更なし。 議案3: 規則改正…51号後見人等候補者名簿登録に関する規則改正案。 議案4: 検証委員会の位置づけ及び委員構成

協議事項〈全了承〉 ①2023年度事業計画予算編成10周年記念事業含め後日事業査定を行う。 ②2023年1月~3月までの理事会日程検討

報告事項〈全了承〉 ①会計執行状況(11月分) ②各事業部委員会2か月報告 ③受託事業報告 ④推薦後援状況 秦野市介護認定審査会委員、藤沢市社会福祉協議会市民後見人養成事業支援員研修受講者等選考…審査会委員の推薦をおこなった。 ⑤執行理事活動報告(正副会長動向前回理事会以降10月10日迄)…正副会長の動向について確認。 ⑥ウェブサイトリニューアルプロジェクト第1回会議報告…なるべく早めにリニューアルできるよう取り組む。 ⑦第4回通常理事会(11月15日開催)…議事録の確認

■臨時理事会 2023年1月17日(火) 19:30~21:00 [オンライン会議]

議長: 隅河内会長 議事録署名: 出席全理事・監事 出席理事: 16名 監事: 東海林 事務局: 2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1: 入退会審査(12月分)…入退会審査→12月入会8名、転入0名、転出4名、退会2名、12月末会員数3,167名、県内登録者数19,847名、組織率15.96%。キャンペーン(30歳以下入会金免除)対象者3名。 議案2: ばあとなあ神奈川後見人等候補者推薦、法人後見状況…名簿登録に係る異動状況は2名抹消、現在登録者数666名。11月推薦依頼47件。法人後見は追加選任があり15件。 議案3: 規則制定…①規則64号 特別委員会設置に関する規則(案) ②「会員による業務上横領事件検証」特別委員会設置に関する要綱(案) 議案4: 臨時代議員総会開催…2月11日10時からの開催。議案は監事選任について。監事候補元会長の本多洋実氏。

協議事項〈全了承〉 ①第6期代議員候補に関する選挙管理委員会からの報告 ②会計執行状況(1月迄)について ③推薦後援状況について ④執行理事活動報告(正副会長動向前回理事会以降1月16日迄)について ⑤通常理事会(12月13日開催)議事録について

■第6回通常理事会 2023年2月14日(火) 19:30~21:20 [オンライン会議]

議長: 隅河内会長 議事録署名: 出席全理事・監事 出席理事: 15名 監事: 東海林・本多 事務局: 2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1: 入退会審査(1月分)…入退会審査→1月入会5名、転入2名、転出0名、退会6名、1月末会員数3,168名、県内登録者数19,850名、組織率15.94%。キャンペーン(30歳以下入会金免除)対象者0名。 議案2: ばあとなあ神奈川後見人等候補者推薦、法人後見状況…名簿登録に係る異動状況は1名抹消、現在登録者数664名。1月推薦依頼50件。法人後見は15件。 議案3: ばあとなあ神奈川運営委員会委員委嘱案 議案4: ばあとなあ神奈川地区コーディネーター委嘱案 議案5: 特別委員会(検証委員会)委員委嘱案 議案6: 規則制定案…①規則48号 業務車両運転者服務規則(案) ②「会員による業務上横領事件検証」特別委員会設置に関する要綱(案)

協議事項〈全了承〉 ①2023年度神奈川県社会福祉士会事業計画案 ②2023年度神奈川県社会福祉士会事業計画案について予算案(1次査定後) ③事業計画予算案会員からの意見伺い掲載期間 ④支部役員連絡会・事業部委員会連絡会合同開催案

報告事項〈全了承〉 ①関東甲信越ブロック連絡協議会 ②会計執行状況(1月迄) ③事業部委員会2か月活動報告 ④受託事業報告 ⑤支部活動報告 ⑥推薦後援状況…法人推薦2件、ばあとなあ神奈川推薦7件、多文化高齢社会ネットかながわの活動報告会の後援 ⑦執行理事活動報告 ⑧臨時理事会(1月17日開催)議事録確認



公開講座 & 研修会

お申込み・
お問合せは

電話：045-317-2045

FAX：045-317-2046 e-mail：web@kacsw.or.jp
公益社団法人神奈川県社会福祉士会 事務局 までお願いします。

月	日	開始時間	終了時間	研修名	概要	場所	主催	対象	費用
5	14	14:00	16:40	支部全体会、 記念講演会	To be, not to do(そこにいると いうこと)相談援助の落とし穴 川崎こころのケアセンター・稲富 正治氏	藤沢市社協 地域活動室 (藤沢市役所分庁舎2階) ・オンライン	湘南東支部	会員	無料
5	28	13:30	16:00	横浜支部講演会& 全体会	権利擁護と社会福祉士への期 待をテーマのシンポジウム及び R5年度事業計画説明。	Zoom	横浜支部	テーマに 関心のある方	無料
7	9	13:30	16:45	10周年記念事業・ 市民公開講座	ヤングケアラー問題を考える(2) 関東学院大学看護学部教授 青木由美恵氏	藤沢市分庁舎 地域活動室 ・オンライン	湘南東支部	会員・市民	無料

開催を予定しております研修・公開講座等は、新型コロナウイルスの感染状況により、やむなく開催を中止、あるいは延期する場合がございます。ご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。なお、最新の状況につきましては本会のホームページをご確認ください。



<http://www.kacsw.or.jp/publics/index/234/>

神奈川県社会福祉士会 研修 講座

検索

表紙写真大募集!!

あなたの写真で「かながわの風」の表紙を飾りませんか?

BEST SHOT をお待ちしております!

広報委員会では「かながわの風」の表紙を飾る写真を募集しています。

テーマ 神奈川の風景

カメラ デジタルカメラで、一眼レフやコンパクトカメラ、スマートフォンなど機種は問いません。

画素数 3024×4032ピクセル以上

送信先 koho@kacsw.or.jp

【ご注意】

- 写真のファイルサイズが大きい場合は、クラウドストレージなどをご利用ください。送信方法が不明な場合は、左記メールアドレスまでご相談ください。
- 人物を被写体にしないでください。人物が個人を特定できるサイズで写っている場合は、同意を得た場合でも採用しない場合があります。
- 採用する場合は、掲載号発行前にメールにてご連絡を差し上げます。不採用の場合はご連絡を差し上げませんので、ご容赦ください。

**編集委員も
同時募集中!**

本会会員の皆様の中で、広報制作に興味・関心がお有りの方は、事務局までお知らせください。是非、新しい「風」づくりに参加をお願い致します。なお、広報委員会は原則として奇数月の最終週の火曜日、19:00~21:00に開催しております。

(広報委員長：日向 明)

編集後記

苗木よ、花咲くその日まで…

先日、娘の卒業式に小学校へ足を進めた。雲間からさす陽光に娘の成長を振り返りながら、ふと顔をあげるとご近所のお庭に「アオダモ」の木が植えられていることに気が付く。

アオダモは、丈夫で環境に馴染みやすく、管理の手間がかからないことから庭木としての需要が多い樹種でもある。花色は雪のようなビュアホワイト、またはやや黄色味を感じる優しいアイボリーであり、地域や環境にもよるが4月から5月頃にかけて花を咲かせる。

木材の特性を活かして野球のバットやテニスやバドミントンのラケットなどの材料に使われることでも知られる。自生するアオダモは日本各地に広く分布するが、厳しい環境のもとで風雪に耐えたものだけが強く、堅く、そして特有のしなりを持ち合わせた良質の木に育つといわれる。苗木から数

十年という長い年月をかけて、その「域」に達する成長過程にどこことなく、人生を思わせるところがある樹木であるかもしれない…。

これから君たちは様々な困難に直面したり、自信を失うような出来事に遭遇するかもしれないが、同じくらい嬉しい出来事や素晴らしい仲間と出会えるはずである。そしていつの日か、かけがえのない「凜」とした大人に成長して行く事だろう…。そう、アオダモの苗木がやがて花を結ぶように…。

本誌がお手元に届くころには、ご近所の「アオダモ」も雪をまとったような可憐な花を咲かせているのではなかろうか。また歩いてみよう…。

(広報委員長：日向 明)

発行日：2023年4月 発行責任者：会長 隅河内 司 編集：公益社団法人神奈川県社会福祉士会広報委員会 印刷：株式会社ガリバー
問合せ：公益社団法人神奈川県社会福祉士会 〒221-0825 横浜市神奈川区反町3-17-2 神奈川県社会福祉センター4F

植物油インキ使用